

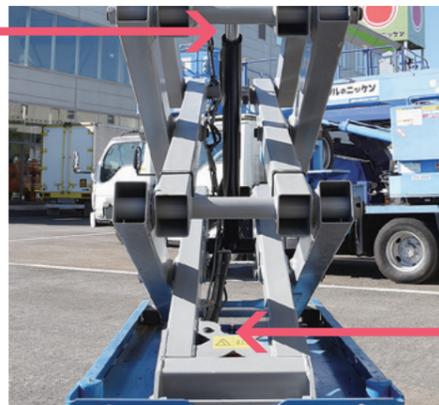
始業前点検のポイント【バッテリー式高所作業車編】

作動油の漏れ、作業装置の確認



ポイント

- ・リフトシリンダーに油漏れはないか？
- ・自然降下はないか？



安全装置の機能



ポイント

- ・損傷はないか？
- ・正常に機能するか？

バッテリー、充電器の作動状態



ポイント

- ・バッテリーターミナルに腐食、緩みはないか？
- ・配線(ケーブル)に損傷はないか？
- ・充電器は正常に作動するか？



作動油の量・漏れ

ポイント

- ・油圧バルブの緩み、油漏れはないか？



- ・油圧ポンプの油漏れ、過熱、異音はないか？



- ・油量は適量か？漏れはないか？



ステアリングの作動、タイヤ(クローラ)・走行モーターの損傷

ポイント

- ・タイヤ、走行モーターに損傷や油漏れはないか？



その他の点検箇所

- ・キースイッチの作動
- ・制動装置の機能
- ・操作装置の機能
- ・作動確認(まずは下部操作で) 等

日々の始業前点検や正しいメンテナンスで、機械寿命の延長と修理費の低減を図ることができます！

スマホで簡単!! レンタルのニッケン オンラインレンタル 作業前点検機能

- ✓ 手書き不要
- ✓ 紙の回収不要
- ✓ 紙管理不要

【レンタルのニッケン 4.3万人ユーザー突破 作業前点検機能で安全をもっと身近に】
https://www.rental.co.jp/news/pdf/240423_online_rental.pdf



レンタルのニッケン

ホームページでも最新情報をお届けしています。是非ご覧ください。

レンタルのニッケン 検索



安全ニュースのご活用について

- 弊社は皆様の安全作業に関するよりよい情報をご提供するため、安全ニュースの製作・配布に取り組んでおります。下記、ご理解いただき、ご活用いただけますようお願い致します。
- 安全ニュースの一部または全部において、個人・法人を問わず、弊社および引用先(各種団体など)の許諾を得ずに、いかなる方法においても、営利目的にて、無断で転売・複製・貸付・加工・加筆および、公衆送信(インターネットやそれに類した送信)などを利用して提供することを禁じております。
- 弊社は、本紙の内容において如何なる保証も行いません。
- 本紙内容にて発生した障害および事故についても、弊社は一切責任を負いません。

レンタルのニッケン 公式 情報発信中!



フォロー宜しくお願ひします!



UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

安全ニュースで取り上げて欲しい題材やご意見ご要望などがございましたらeメールをご活用ください e-mail: nikken@rental.co.jp

お客様の安全作業のために。

レンタルのニッケン

安全ニュース

Safety news

2024年
7月号
No. 271

編集・発行 株式会社レンタルのニッケン 安全技術部/営業企画部

お問い合わせ TEL.03-6775-7811



特集 始業前点検

- 7月は林業労働災害防止強化月間です
- 始業前点検をしましょう
- 日常点検について
- 始業前点検のポイント【バッテリー式高所作業車編】

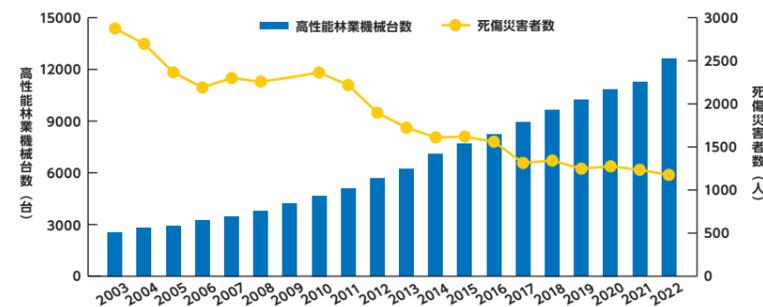
2024年
8月号の予告

防災週間
準備期間

7月は林業労働災害防止強化月間です

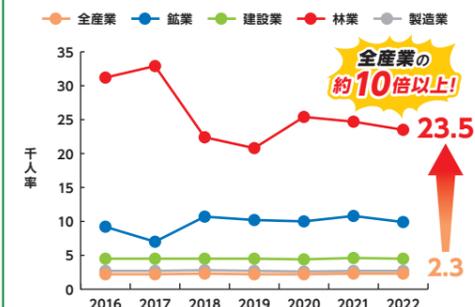
林業の労働災害

高性能林業機械の普及に伴う死傷災害者数の変化



参考:「労働災害発生状況(厚生労働省) (https://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzensei/11/rousal-hassel/)、
「高性能林業機械の保有状況(林野庁) (https://www.rinya.maff.go.jp/j/kaihatu/kikai/daisuu.html)」を加工して作成。

労働災害千人率 林業と他産業の比較



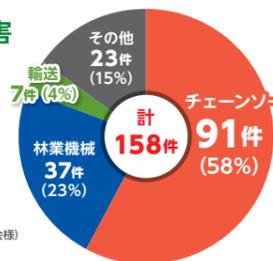
参考:「労働災害統計(厚生労働省 職場のあんぜんサイト) (https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html)」を加工して作成。

近年は減少傾向にあるものの他産業と比較した千人率では、

林業は圧倒的に高い数値です。

林業における作業別死亡災害5年間

(2018年~2022年) 7件(4%) 計 158件



参考:「林業における作業別死亡災害5年間(平成30年~令和4年)」(林業・木材製造業労働災害防止協会) (https://www.rinsaibou.or.jp/disaster/assets/18rin08_2.pdf) を加工して作成。

2018年度と2022年度の事故型別・起因物別労働災害発生状況比較

※死亡率=死者数に対する死亡者の割合

	死者数(人)		死亡率(%)	
	2018年度	2022年度	2018年度	2022年度
車両系木材伐出機械等	87	116	5.7	6.0
伐木等機械	45	70	11.1	4.3
走行集材機械	21	21	0	9.5
架線集材機械	15	15	0	13.3
その他の車両系林業用機械	6	10	0	0.0
その他	1161	1060	2.4	2.0
林業における全労働災害	1248	1176	33	2.4

参考:「労働災害統計(厚生労働省 職場のあんぜんサイト) (https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html)」、
「業務上疾病発生状況等調査(平成31年/令和元年)」(厚生労働省) (https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_12883.html)」、
「業務上疾病発生状況等調査(令和4年)」(厚生労働省) (https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_34778.html) を加工して作成。

チェーンソーによる死亡災害が全体の6割を占める一方、林業機械による死亡災害も約2割と一定数事故が発生しています。2018年度と2022年度の事故型別・起因物別労働災害発生状況を比較すると、伐木等機械による労働災害の死傷者数が25件増と大幅増加傾向です。

林業機械の保有台数が増えていくにつれ、機械による転落や激突事故が増え、人命にかかわる大きな事故に繋がる原因にもなっています!!



★ ホームページにも掲載しております!是非ご覧ください。★

日常点検について

参考:「日常点検について」(日本キャタピラー様)を加工して作成

建設機械を使用する際、日常点検をしっかり行っているかどうかで重大なトラブルの発生率が変わるだけでなく機械寿命も大きく変わります。小まめに点検整備を行い、ベストコンディションで現場に臨みましょう。

日常点検の目的

日常点検は、 トラブル防止の **第一歩!**

日常点検には、その日自分が使用する機械に現れる不具合の兆候を早期に発見し、トラブルを未然に防ぐという目的があります。



日常点検には…

始業前の点検

シフト毎の点検

終業時の点検

などがあります

今回は「始業前点検」について
右ページにて具体的にご紹介しています。

小まめな点検は、「**転ばぬ先の杖**」。
しっかり行いトラブルを防ぎましょう。



エンジン周りの点検は特に重要

1 オイルのチェック

特に重要なのがオイルのチェックです。エンジンオイルや作動油の点検を怠ると、出力の低下や内部の焼付き・損傷を起こし、オーバーホールや高額な修理が必要になるかも知れません。



■ 建設機械トラブルの発生原因



トラブルの**7割**は
オイルが原因です!



2 冷却水の点検

冷却水が不足している状態でエンジンをかけるとオーバーヒートを起こす原因になります。

3 燃料の管理

お使いの機械がオフロード法対応機種である場合は、電子制御で最適な燃料噴射を行ってエンジンを回しているため、燃料の管理も必要です。

始業前点検をしましょう

参考:「日常点検について」(日本キャタピラー様)を加工して作成

始業前点検の手順【ユンボ編】



まず、平らで安全な場所を選び、取扱説明書で指定された駐機姿勢にしてください。そして作業の前に機械の周りを順に点検してみましょう。
※一般的な構造を例に説明しています。機種によって構造は異なります。

① エンジンオイルと作動油の点検

エンジンオイルや作動油などの量を確認しながら、汚れの状態を確認してください。もし、エンジンオイルのオイルレベルが増えていたら、燃料が冷却水がオイルパンに流入している可能性があります。処置を怠ると、ベアリングの損傷やエンジン焼付きの原因となります。



⑪ 排気の色と音の確認

エンジンを始動したら、暖機運転時に排気の色とエンジンの音(異音がないか)をチェックしましょう。快調なエンジンの排気は無色透明に近い色をしています。

排気の色による見分け方

黒:不完全燃焼
白:生の燃料または冷却水が燃焼している可能性あり
青:エンジンオイルが燃焼している可能性あり

⑩ 車両下部の油漏れの確認

車両下部に油漏れがないか確認してください。



② ラジエータの点検

冷却水の量が十分かどうか確認してください。また、ラジエータコアのごみ詰まりなどもチェックしましょう。放置するとオーバーヒートの原因となります。



⑨ 足回りの点検

履帯の張り具合を確認してください。履帯の張り過ぎは早期摩耗や燃料消費量増加につながります。ちょうどいい張り具合は、アイドラとキャリアローラ間の緩みが50mm前後です。



③ エアフィルタの点検

フィルタの目詰まりがないか確認してください。目詰まりはパワーダウンや燃料消費量が増えることにつながります。



⑧ バケットの点検

バケット本体に亀裂はないか、またバケットツースは摩耗していないか確認してください。点検を怠ると、作業効率が低下したり、破損による作業中断につながります。



④ ウォータセパレータの確認

ウォータセパレータエレメント下部のボール部に水やごみがないか確認し、あった場合はドレーン(水抜き)しましょう。水がたまりと錆びやフィルタ詰まりが発生し、不調の原因となります。



⑦ グリスアップ

各可動部をチェックし、必要に応じてブッシュからはみ出るまで十分にグリスアップしてください。怠ると接続ピン部の偏摩耗や折損、ロックボルトの脱落などの原因となります。



⑤ 各所油圧シリンダの点検

シリンダ部に油漏れが見られないか確認してください。油漏れの箇所から異物が侵入するとポンプやモータを損傷する恐れがあります。



⑥ 各所ホース類の点検

油圧・燃料・ラジエータのホースに損傷はないか確認してください。亀裂があった場合は早めに交換しましょう。

